

IMAGE LIBRARY NEWS

これだけは見ておこう！
必見映画選

179

イメージライブラリー所蔵作品の中から、
いまムサビで学ぶみなさんに観てもらいたい
重要作品をピックアップ。
未知の世界へ分け入るためのガイドマップ。



●本誌は「イメージライブラリー・ニュース第18号」掲載の「これだけは見ておこう！必見映画選」を抜粋・増補したものです。

●映像学科教授の指導のもと、本学の授業で頻繁に取り上げられる作品や映画史的な位置付けを考慮した上で選抜しています。

●タイトルとジャンルは作品のものを表記しています。作品が収録されている資料のタイトル・ジャンルとは異なる場合があります。

●イメージライブラリーの検索システムで作品の詳細な情報を調べることができます。

検索システム（学内アクセス）：

<http://imagelib-dsvr10.musabi.ac.jp/img-lib-search/>

検索システム（学外アクセス）：

<http://img-lib.musabi.ac.jp/search/>

映画館やテレビに限らず、パソコンやスマートフォン、街頭広告（デジタルサイネージ）など至るところに動く映像が遍在している現在、「映画を観る」とは、「作品をつくる」とは一体いかなる意味を持つでしょうか。わたしたちは視覚文化にかんする価値観や前提が大きく揺らいでいる時代に生きています。

理論家のレフ・マノヴィッチは、デジタル化によって映画や写真など個々のメディアに備わっていた特性が計算・操作可能なデータへと一元化されることにより、「メディア」という概念自体の有効性が失われつつあることを述べる一方で、インターネットやコンピュータゲームなどのニューメディアには、映画をはじめとする従来のメディアが作りあげてきた慣習が根強く残り、影響を与えていることを指摘しました^{*1}。また、現代の映画やウェブ動画に、リュミエール社の製作した『ラ・シオタ駅への列車の到着』をはじめとする創成期の映画（初期映画）との類似を見て取る論者も現れています^{*2}。そうであるとすれば、これから作品制作や研究に取り組もうとするひとにとって、映画が辿ってきた歴史や映像メディアの変遷を知っておくことの重要性はますます高まっていると言えるでしょう。

イメージライブラリーは、国内外の劇映画に加えて、アニメーション、ドキュメンタリー、アート映像・実験映像など、様々なジャンルの映画・映像作品を約2万タイトル収蔵している施設です。本紙ではその中から、「ムサビで学ぶみなさんにぜひ観てもらいたい作品」というテーマのもとに一部をピックアップしました。ぜひこのリストを片手にイメージライブラリーを訪れて、気になる作品を探したり、気ままに書架を眺めてみてください。原則すべての資料が開架されているこのライブラリーの利点は、フィルターバブル（個々人の趣味・嗜好を予測した検索結果が提示され、それに一致しない情報が排除されること^{*3}）から逃れ、新しい発見や出会いをもたらすことにあるのです。

*1 レフ・マノヴィッチ『ニューメディアの言語——デジタル時代のアート、デザイン、映画』、みすず書房、2013年（原著2001年）

*2 渡邊大輔『イメージの進行形——ソーシャル時代の映画と映像文化』、人文書院、2012年

*3 イーライ・パリサー『閉じこもるインターネット——グーグル・パーソナライズ・民主主義』、早川書房、2012年（原著2011年）

179選

日本映画27

丹下左膳餘話 百萬兩の壺

山中貞雄
1935年|日本

庶民の人生の機微を、軽妙な笑いに包んで描いた時代劇版小市民映画。百万両のありかが隠された壺を巡る騒動が繰り広げられる。

羅生門

黒澤明
1950年|日本

芥川龍之介『藪の中』の映画化。迫力ある語り口と驚異的な光と影の演出によって、人間のエゴイズムを巧みに描き上げる。

外国映画82

工場の出口

リュミエール兄弟(製作)
1895年|フランス

月世界旅行

ジョルジュ・メリエス
1902年|フランス

イントレランス

D・W・グリフィス
1916年|アメリカ

グリフィスは、数々の新手法を映画に取り込んだ“アメリカ映画の父”。不寛容によって起こった歴史上の4つの事件を同時進行で交互に描く。



DVD発売元:アイ・ヴィー・シー

カリガリ博士

ロベルト・ヴィーネ
1919年|ドイツ

20世紀初頭の芸術運動“ドイツ表現主義”を代表する作品。精神病者の妄想を奇怪に歪んだ空間と人工的な照明によって描く。

最後の人

F・W・ムルナウ
1924年|ドイツ

ホテルのドアマンからトイレ番に降格させられた老人の悲哀を、中間字幕に頼ることなく、移動撮影による流麗な映像で描いたサイレント映画。

タイトル

監督
制作年|制作国
(概要)

雨月物語

溝口健二
1953年|日本

江戸時代の怪談集を基に、乱世の時代に欲にとらわれた人間の姿を綴った絵巻物のような時代劇。妖艶な死霊との戯れを描いた幽玄の世界はモノクロ映像の美を極め、さらにワンシーン・ワンショットの人物凝視の演出によって画面には気迫が満ちる。

東京物語

小津安二郎
1953年|日本

尾道の老夫婦が東京で暮らす息子達を訪ねる。独自の美学に基づく研ぎ澄まされた演出で緩やかに崩壊する家族の心を浮き彫りにした傑作。

浮雲

成瀬巳喜男
1955年|日本

敗戦後の虚無感の中で転落してゆく一組の男女を描く。理屈で割り切れない人間の心情を、眼差しや身ぶりの描写の積み重ねによって炙り出す。

幕末太陽傳

川島雄三
1957年|日本

裸の島

新藤兼人
1960年|日本

黒い十人の女

市川崑
1961年|日本

十三人の刺客

工藤栄一
1963年|日本

砂の女

勅使河原宏
1964年|日本

安部公房の小説を映画化した前衛的不条理劇。砂丘地帯の穴に閉じ込められた男の心理描写と、強迫的な砂の造形美に驚かされる。



Blu-ray発売元:アイ・ヴィー・シー

戦艦ポチョムキン

セルゲイ・M・エイゼンシュテイン
1925年|ソ連

劣悪な環境におかれたポチョムキン号の兵士の反乱を、独創的なモンタージュ技法によって映像言語化したロシア・アヴァンギャルドの名作。

メトロポリス

フリッツ・ラング
1926年|ドイツ

近未来社会の恐怖を鋭くついたサイレント時代の古典SF。その世界観、都市やロボットの洗練を極めた造形は、その後多くの模倣を生んだ。

赤い殺意

今村昌平
1964年|日本

EMOTION=伝説の午後=いつか見たドラキュラ

大林宣彦
1966年|日本

映像の魔術師・大林宣彦の原点ともいえる自主製作時代の作品。実験的な手法を駆使し、当時のアンダーグラウンド映画界を沸かせた。

日本春歌考

大島渚
1967年|日本

60年代の騒然とした東京を舞台に性の歌である春歌を軸に描く異色の青春映画。抑圧された心を春歌に託す青年の姿が当時の時代を体現する。

初恋:地獄篇

羽仁進
1968年|日本

心中天網島

篠田正浩
1969年|日本

薔薇の葬列

松本俊夫
1969年|日本

ゲイの少年が母を殺し父と交わるという現代のオイディプス神話を、素人のゲイボーイの起用や登場人物へのインタビュー、新宿街頭でのケリラ撮影等を取り入れた虚実ないまぜの実験的手法で描く。監督は映像理論、ドキュメンタリー、実験映像の世界で広く活躍。

私が棄てた女

浦山桐郎
1969年|日本

無常

実相寺昭雄
1970年|日本

キートンの蒸気船

チャールズ・F・ライズナー
1928年|アメリカ

チャップリンやハリウッド・ロイドと並び称される喜劇王バスター・キートンの代表作。練られた脚本と超人的なアクションが圧巻。



DVD発売元:アイ・ヴィー・シー

アンダルシアの犬

ルイス・ブニュエル
1928年|フランス

無意識から生まれたイメージを脈絡なく連結したシュルレアリスム映画の代表的作品。切り裂かれる眼、手の平の蟻…不条理で強烈な印象が残る。

裁かるるジャンヌ

カール・テオドール・ドライヤー
1928年|フランス

デンマークの巨匠ドライヤーが、ジャンヌ・ダルク裁判を題材に、人間の表情の執拗なクローズアップの積み重ねによる心理描写を追求する。

フランケンシュタイン

ジェームズ・ホエール
1931年|アメリカ



© 紀伊國屋書店

草迷宮

寺山修司
1979年|日本

泉鏡花の原作を基に、青年の手塚暎探しに仮託した母追慕の物語を、幻想・過去・現在を交錯させる手法で紡ぐ。哀切な抒情に溢れた一編。

ツィゴイネルワイゼン

鈴木清順
1980年|日本

泥の河

小栗康平
1981年|日本

戦後、復興し始めた大阪。河岸のうどん屋の少年は、対岸に繋かれた廊舟に住む姉弟との出会いと別れの中で、初めて生きることの痛みを知る。

家族ゲーム

森田芳光
1983年|日本

囁くような会話、音楽を一切使用せず現実音を誇張した音処理、ねじれた空間…。現代の家族関係をシニカルかつシュールに描いたホームドラマ。

部屋 THE ROOM

園子温
1993年|日本

ニンゲン合格

黒沢清
1998年|日本

ユリイカ

青山真治
2000年|日本

バスジャック事件で生き残り、心に深い傷を負った運転手と乗客の兄妹。彼らの魂の再生の旅を、九州の自然を背景に静かに描き上げる。

リリイ・シュシュのすべて

岩井俊二
2001年|日本

H story

諏訪敦彦
2001年|日本

新学期 操行ゼロ

ジャン・ヴィゴ
1933年|フランス

モダン・タイムス

チャールズ・チャップリン
1936年|アメリカ

駅馬車

ジョン・フォード
1939年|アメリカ

危険な荒野を疾走する駅馬車。そこへ乗り合わせた人々の人間模様と、彼らの運命の交差を描いた痛快な西部劇。その躍動感は今も色あせない。

オズの魔法使

ヴィクター・フレミング
1939年|アメリカ

ゲームの規則

ジャン・ルノワール
1939年|フランス

貴族の恋愛模様を「楽しい悲劇」として描き上げた群像劇。アンドレ・バザンやリュネウォールなど錚々たる映画人から愛されたルノワールの名作。



「草迷宮」1979年
発売元・紀伊國屋書店



DVD 発売元：アイ・ヴィー・シー

市民ケーン

オーソン・ウェルズ
1941年 | アメリカ

弱冠25歳のウェルズが、新聞王ケーンの波乱の人生を描いた処女作。斬新な構成と演出、実験的な撮影法は後の映画史に影響を与えた。

三つ数えろ

ハーワード・ホークス
1946年 | アメリカ

フィルム・ワールの傑作として名高い作品。私立探偵マーロウがファム・ファタール（運命の女）に翻弄されながらも複雑な事件の謎に迫る。

自転車泥棒

ヴィットリオ・デ・シーカ
1948年 | イタリア



DVD 発売元：アイ・ヴィー・シー

ドイツ零年

ロベルト・ロッセリーニ
1948年 | イタリア

敗戦後の瓦礫と化したベルリンでロケを敢行。健気に生きる少年に戦争がもたらした哀しい運命を冷徹なタッチで描いたネオリアリズムの代表作。



DVD 発売元：アイ・ヴィー・シー

オルフェ

ジャン・コクトー
1949年 | フランス

前衛映画の系譜を受け継いだ詩人コクトーが描く現代のギリシャ神話。生と死を彷徨する詩人を逆回りし等のトリック撮影を用いて幻想的に描く。

裏窓

アルフレッド・ヒッチコック
1954年 | アメリカ

トリュフォーなど芸術派の作家達も敬愛して止まないサスペンスの神様・ヒッチコックは、豊かな実験精神で多くの映像テクニックを確立した。

大地のうた

サタジツ・レイ
1955年 | インド

天が許し給うすべて

ダグラス・サーク
1955年 | アメリカ

後に数々のオマージュが捧げられたメロドラマの傑作。閑静な郊外住宅地に暮らす未亡人が庭師と恋に落ち、周囲からの冷たい視線にさらされる。

第七の封印

イングマル・ベルイマン
1956年 | スウェーデン

騎士は死神に死を賭けてチェスの勝負を挑む。中世世界の人間と死の戯れを、厳格な演出と宗教画のような美しい映像で描いた神秘劇。

ぼくの伯父さん

ジャック・タチ
1958年 | フランス / イタリア

だぼだぼコートに雨傘、くわえパイプがトレードマークのユロ伯父さんが巻き起こす騒動を描いた長編喜劇。ポエジー溢れる町の描写が楽しい。

灰とダイヤモンド

アンジェイ・ワイダ
1958年 | ポーランド

アメリカの影

ジョン・カサヴェテス
1959年 | アメリカ

ハリウッドの製作システムを否定し、自主製作の道を開拓したカサヴェテスの処女作。シナリオのない即興演出で、異人種間の愛に肉薄する。

大人は判ってくれない

フランソワ・トリュフォー
1959年 | フランス

家庭や社会から疎外され、ついには感化院送りになってしまう多感な少年の姿を、即興演出とロケ撮影によるのびやかで瑞々しい映像で描いたヌーヴェル・ヴァークの代表作。監督トリュフォーの自伝的要素の濃い作品で、その後約20年に渡り続編4作が制作された。



「灰とダイヤモンド」1958年
発売元：紀伊國屋書店



「ひなぎく」1966年
©Slate Cinematography Fund
DVD, BD 発売：チェスキー・ケー 販売：タケレオ出版

情事

ミケランジェロ・アントニオーニ
1960年 | イタリア

突然失踪した女性を探る親友と婚約者。謎はいっしょに二人の情事にすり替わる。愛の不毛、コミュニケーションの不在、時代の倦怠感を描く。



©1960 TF1 Droits Audiovisuels - Trianus
Blu-ray 発売元：アイ・ヴィー・シー

若者のすべて

ルキノ・ヴィスコンティ
1960年 | イタリア / フランス

南部からミラノへと移住してきた貧しい一家が、大都市の中で崩壊していく様を描いた叙事詩。監督は『ベニスに死す』等の耽美的作品で有名。

地下鉄のザジ

ルイ・マル
1960年 | フランス

去年マリエンバートで

アラン・レネ
1961年 | フランス / イタリア

男の言葉に従い、女は覚えていない去年の情事の記憶を作り上げていく。シンメトリー構図の中で紡がれる時間と空間、意識と無意識の迷宮。

長距離ランナーの孤独

トニー・リチャードソン
1962年 | イギリス

ラ・ジュテ

クリス・マルケル
1962年 | フランス

廃墟と化した第三次世界大戦後のパリからタイムトラベルした男は、過去の世界で見覚えのある女性に出会う。記録映画作家のマルケルが記憶をモチーフに描くSF映画。モノクロの静止画とモノローグで綴られた、映像の無限の可能性を示した衝撃作。

水の中のナイフ

ロマン・ポランスキー
1962年 | ポーランド

奇跡の丘

ピエル・パオロ・パゾリーニ
1964年 | イタリア / フランス

気狂いピエロ

ジャン＝リュック・ゴダール
1965年 | フランス / イタリア

全編シナリオなしの即興演出と、既成の映像・言葉・音からの引用で構成。映画文法にとらわれない革新的な語り口は世界に衝撃を与えた。

盗まれた飛行船

カレル・ゼマン
1966年 | チェコスロバキア

ひなぎく

ヴェラ・ヒティロヴァー
1966年 | チェコスロバキア

ポーリー・マギーお前は誰だ？

ウィリアム・クライン
1966年 | フランス

2001年宇宙の旅

スタンリー・キューブリック
1968年 | アメリカ / イギリス

科学的根拠に基づく徹底したリアリズムの追求やクラシック音楽の導入など、それまでのSF映画の常識を覆した傑作。人類創生から新人類の誕生までを描く。ヒトザルが投げた骨がゆるやかに下降しながら宇宙船にすりかわるジャンプ・カットは、映画史に残る名シーンである。

イージー・ライダー

デニス・ホッパー
1969年 | アメリカ

ケス

ケン・ローチ
1969年 | イギリス

エル・トポ

アレハンドロ・ホドロフスキー
1970年 | アメリカ / メキシコ

チリ出身の監督が、子連れのガンマンの決闘と死、復活を旧約聖書になぞらえて描く。暴力と聖性、西部劇と宗教映画が渾然となった異色作。

暗殺の森

ベルナルド・ベルトルッチ
1970年 | イタリア / フランス / 西ドイツ

ざくろの色

セルゲイ・パラジャーノフ
1971年 | ソ連

18世紀のアルメニアの詩人サヤト・ノヴァの生涯を、神秘的な様式美と目の醒めるような色彩で幻想的に綴った映像詩。パラジャーノフ監督はその作風によってソ連当局に不当に投獄された経験を持つが、ゴダールをはじめとする世界の映画人によって抗議運動が展開された。

フェリーニのローマ

フェデリコ・フェリーニ
1972年 | イタリア

フェリーニが魂の故郷ローマへ捧げた幻想的で摩訶不思議な映像世界。青年期の記憶から現代まで時間を奔放に行き来し、現実と虚構が入り混じったエピソードをモザイク状に構成することで、目の前に人格を持った巨大な生き物のようなローマが立ち上がってくる。

ミツバチのささやき

ビクトル・エリセ
1973年 | スペイン

内戦が落とす暗い影、大人達が抱える孤独を繊細に綴りながら、現実と空想の世界の区別がつかない幼い少女の世界を詩情豊かに描く。

インディア・ソング

マルグリット・デュラス
1974年 | フランス

映像と分離した「オフの声」—画面に現れない者達の対話によって、記憶と忘却とのせめぎ合いを表現しながら、熱狂的な愛の物語を綴る。

カッコウの巣の上で

ミロス・フォアマン
1975年 | アメリカ

ジョーズ

スティーヴン・スピルバーグ
1975年 | アメリカ

旅芸人の記録

テオ・アングロプロス
1975年 | ギリシャ

旅芸人一家の物語を軸に現代ギリシャ史を放する壮大な映像叙事詩。奇跡のような長回し撮影で描かれる圧倒的なスケールの映像美は必見。



©Mosfilm Cinema Concern 1974
DVD・Blu-ray発売元：アイ・ヴィー・シー

鏡

アンドレイ・タルコフスキー
1975年|ソ連

ロシアの映画作家タルコフスキーによる自伝的作品。吃音の少年時代、緑溢れる故郷の風景、母の面影、戦争の記憶、妻との離婚危機…。過去と現在、夢と記憶の断片が織り込まれた本作は、幻想的な映像詩であると同時に、彼独自のロシア現代史記述の試みでもあった。

タクシー・ドライバー

マーティン・スコセッシ
1976年|アメリカ

アニー・ホール

ウディ・アレン
1977年|アメリカ

イレイザー・ヘッド

デヴィッド・リンチ
1977年|アメリカ

不可解さに満ちていながらも抗い難い魅力をもつ初期の“リンチ・ワールド”。不気味な赤ん坊の父親になった男の悪夢と妄想を描く。

アート映像・実験映像

リズム21

ハンス・リヒター
1921年|ドイツ

抽象形態のみで構成される“絶対映画”の代表作。ダイアストのリヒターが、映像の運動のみで視覚的リズムを生み出すことを試みる。

パレエ・メカニック

フェルナン・レジェ
1924年|フランス

幕間

ルネ・クレール
1924年|フランス

アネミック・シネマ

マルセル・デュシャン
1926年|フランス

マルセル・デュシャンが、映画の光学的な効果に到達する、より実際的な方法として制作したタダ映画。回り続ける円盤が錯視を生み出す。

ひとで

マン・レイ
1928年|フランス

午後の網目

マヤ・デレン
1943年|アメリカ

アメリカ実験映画の出発点であり、60年代以降にはフェミニスト映画の先駆としての再定義がなされた作品。精神分析的に自殺願望の夢想を描く。

ディア・ハンター

マイケル・チミノ
1978年|アメリカ

地獄の黙示録

フランシス・F・コッポラ
1979年|アメリカ

コヤニスカッツィ

ゴッドフリー・レジオ
1982年|アメリカ

コヤニスカッツィとはアメリカ先住民ホピ族の言葉で「平衡を失った世界」の意。文明と自然の関係をナレーションのない圧倒的な映像で綴る。

フィツカラルド

ヴェルナー・ヘルツォーク
1982年|西ドイツ

神話的世界を見つめ続ける超時代的作家・ヘルツォークが、ペルーの未開の地でオペラハウスを建設しようとする男の物語を描く。

ボーイ・ミーツ・ガール

レオス・カラックス
1983年|フランス

80年代のフランス映画界で最も作家的な生き方をした“恐るべき子供”カラックス。自らの魂を吐露した夜のパリの情景は美しくも物悲しい。

ラルジャン

ロベール・ブレッソン
1983年|フランス/スイス

偽札によって破滅へと導かれる青年。孤高の映画作家ブレッソンの、台詞と演技を極力排した禁欲的な演出が、より鋭く研ぎ澄まされた遺作。

風櫃の少年

ホウ・シャオシェン
1983年|台湾

兵役を直前に控えた少年達の無為でかけがえのない時間を捉えた青春映画。のびのびとした新しい肌触りを持つ台湾ニューウェイブの代表作。



提供：ミストラルジャン

Dog Star Man

スタン・ブラッケージ
1961-64年|アメリカ

アメリカ実験映画史上の古典的作品。血液や内臓といったマイクロからマクロまでの映像断片が交錯し、宇宙論的イメージが湧出する。

コンセプトテープ 1,2,3

飯村隆彦
1970-90年|日本

飯村隆彦のコンセプトチュアルな構造映画は、映画の物理性と哲学的な要素を提示する。初期作品の『くず』や『AI (LOVE)』も必見。



「Dog Star Man」1961-64年

提供：ミストラルジャン

ストレンジャー・ザン・パラダイス

ジム・ジャームッシュ
1984年|アメリカ/西ドイツ

ワンシーン・ワンカットで冴えない若者の日常を描いた低予算映画。独特の感性が各方面で話題となり、インディーズブームを巻き起こした。

カオス・シチリア物語

タヴィアーニ兄弟
1984年|イタリア

パリ、テキサス

ヴィム・ヴェンダース
1984年|フランス/西ドイツ

放浪から帰還した男が幼い息子と絆を確かめ合いながら失踪した妻を捜す。ドイツ人監督がアメリカの風景の中に描く家族の再生と人間の孤独。

未来世紀ブラジル

テリー・ギリアム
1985年|イギリス

友だちのうちはどこ？

アッバス・キアロスタミ
1987年|イラン

子供達の自然な表情や振る舞いをドキュメンタリーのようにとらえた奇跡の一作。イラン版『大人は判ってくれない』。

紅いコーリャン

チャン・イーモウ
1987年|中国

イーモウ監督の初期作品『紅いコーリャン』や『紅夢』に印象的に使われる紅色には、中国の歴史や文化、人々の想いが込められている。

数に溺れて

ピーター・グリーンウェイ
1988年|イギリス

リトアニアへの旅の追憶

ジョナス・メカス
1972年|アメリカ

リトアニアからアメリカへ亡命し、27年後に母や友人達と再会するまでの日々を3部構成でまとめたメカスの代表作。メカスはアメリカ実験映画史に絶対的な影響力を持つ作家・オーガナイザー。本作のように、日常生活の断片的な記録を集積した“日記映画”というスタイルを生み出した。



初国知所之天皇

原将人
1973年|日本

当時23歳だった原将人が『古事記』と『日本書紀』を題材として制作した風景映画。カメラを携え、日本各地を巡りながら映画の起源を探る。

アラベスク

ジョン・ウィットニー
1975年|アメリカ

パワーズ・オブ・テン

チャールズ&レイ・イームズ
1977年|アメリカ

公園でピクニックする男女を起点に、10の累乗のスピードで宇宙から原子核までを旅する。イームズ夫妻は革新的なデザインで近代家具の歴史に大きな進展をもたらした一方で、映像の分野でも優れた作品を数多く残した。イメージライブラリーでは約50作品を所蔵。

デカローグ

クジシュトフ・ケシロフスキ
1988年|ポーランド

動くな、死ね、甦れ!

ヴィターリー・カネフスキー
1989年|ソ連

マッチ工場の少女

アキ・カウリスマキ
1990年|フィンランド

僕の好きなこと、嫌いなこと

ジャン＝ピエール・ジュネ
1990年|フランス

ブレードランナー (ディレクターズカット/最終版)

リドリー・スコット
1992年|アメリカ

ストーン

アレクサンドル・ソクーロフ
1992年|ロシア

海に面した白い館に、死後の世界から作家チェーホフの魂が帰還する…。歪んだ画面と幻想的なモノクロ映像で描かれる、亡霊と青年の対話。

親愛なる日記

ナンニ・モレッティ
1993年|イタリア/フランス

風の丘を越えて - 西便利 -

イム・グエンテク
1993年|韓国

アンダーグラウンド

エミール・クストリツァ
1995年|フランス他

エレファント

ガス・ヴァン・サン
2003年|アメリカ

ブンミおじさんの森

アビチャップン・ウィーラセタクン
2010年|英・タイ他

リフレクティング・プール

ビル・ヴィオラ
1977-79年|アメリカ

ビル・ヴィオラは現代美術においても高く評価されるビデオ・アーティスト。森の中のプールをビデオ特有の手法で捉え時間の重層化を試みる。

タンゴ

ズビグ・リブチンスキー
1980年|ポーランド

天使

パトリック・ボカノウスキー
1982年|フランス

7つのシークエンスからなる悪夢的映像詩。美しくも神経症的な弦の音と細密な特殊効果撮影から生み出された鮮烈なイメージの奔流。

DRILL

伊藤高志
1983年|日本

社会の内外の境界である集合住宅の下駄箱の空間を歪曲した世界観でみせる。体育館をスクールでコマ撮りした『SPACY』も初期の代表作。

ダウンサイド・アップ

トニー・ヒル
1984年|イギリス

事の次第

ベーター・フィッシュリ/ダヴィッド・ヴァイス
1987年|スイス

Site Recite

ゲイリー・ヒル
1989年|アメリカ

アニメーション25

ファンタジア

ウォルト・ディズニー（製作）
1940年|アメリカ

くもとちゅうりっぷ

政岡憲三
1942年|日本

同時期の日本漫画映画の傑作『桃太郎 海の神兵』とは対照的に、戦時色は微塵も感じられない。その繊細な動きと豊かな詩情には思わず嘆息。

モーシオン・ペインティング NO.1

オスカー・フィッシングー
1947年|アメリカ

油絵をガラス板の上に描いていく過程をコマ撮りした抽象アニメーション作品。曲はバッハの「ブランデンブルグ コンチェルトNo.3」。

皇帝の鶯

イジイ・トルンカ
1948年|チェコスロバキア

アンデルセンの『ナイチンゲール』を題材にトルンカによって制作されたチェコの人形アニメーション。独自の視点と演出でみせる珠玉の作。

色彩幻想-過去のつまらぬ気がかり

ノーマン・マクラレン
1949年|カナダ

映像と音楽の共通項は「動き」であるという考えのもと、ダイレクト・ペイントやスクラッチなど様々なカメラレス手法を駆使して「動きのある色彩」を表現した抽象アニメーション。音楽はジャズ界の巨匠オスカー・ピーターソンが監督のマクラレンと話し合いながら作曲した。

ドキュメンタリー18

極北の怪異

ロバート・J・フラハティ
1922年|アメリカ

イヌイットの暮らしを描いたドキュメンタリー映画の草分け。真実を伝える為にこそ施された“演出”は、ドキュメンタリーとは何かを我々に問う。

カメラを持った男

ジガ・ヴェルトフ
1929年|ソ連

“キノグラース”というジガ・ヴェルトフ独自の映画理論に基づく実験的なドキュメンタリー映画。

民族の祭典

レニ・リーフェンシュタール
1938年|ドイツ

戦ふ兵隊

亀井文夫
1939年|日本

くじら

大藤信郎
1952年|日本

人間動物園

久里洋二
1962年|日本

武満徹のヴォーカリズムに合わせ、檻の中で男は女に犬のようにあしらわれ、リードで引っ張られる。ブラックユーモアの効いた作品。

鼻

アレクサンダー・アレクセイエフ
1963年|フランス

ピンスクリーンの創始者による作品。ピンの凹凸によって描かれた絵は白から黒までをつなぐハーフトーンの豊かな色調を見せている。

イエロー・サブマリン

ジョージ・ダンニング
1968年|イギリス

ファンタスティック・プラネット

ルネ・ラルー
1973年|フランス/チェコスロバキア

青い肌・赤い眼の巨人が支配する惑星が舞台のSFファンタジー。切り紙アニメーション独特の動きでローラン・トポールの絵は奇怪さを増す。

蛙の求婚

イブリン・ランバート
1974年|カナダ

優しい金曜日

田名網敬一
1975年|日本

アニメーションや版画など、幅広い創作活動続けるグラフィック・デザイナーの田名網敬一が、自身の少年時代の記憶を走馬燈のように綴る。

チチカット・フォーリーズ

フレデリック・ワイズマン
1967年|アメリカ

長回しと同録、ナレーションの排除等を特徴とするダイレクト・シネマの巨匠による長編デビュー作。マサチューセッツ州の精神病患者矯正施設にカメラを向け、劣悪な環境下で非人間的な扱いを受ける収容者の日常を克明に記録している。1991年まで上映禁止とされた問題作。

水俣 - 患者さんとその世界 -

土本典昭
1971年|日本

水俣病患者達の苦悩と変わらない海への思慕。近代化の痛みを見つめると同時に海と人との暮らしを鮮やかにフィルムに刻み込んでいる。

ルアッサンブラージュ

トリン・T・ミンハ
1982年|アメリカ

フィルム・ビフォー・フィルム

ヴェルナー・ネクス
1985年|ドイツ

シヨア

クロード・ランズマン
1985年|フランス

『シンドラーのリスト』を批判するランズマンが、ユダヤ人大量虐殺の当事者の証言を集めた問題作。表象不可能性を巡る議論を巻き起こした。

ゆきゆきて、神軍

原一男
1987年|日本

神軍平等兵を名乗る奥崎謙三はウェフク残留隊の生存者を訪ね、戦線での事実を追及する。過激な奥崎を原のカメラが追い、観客は目撃者となる。



©川本プロダクション

道成寺

川本喜八郎
1976年|日本

日本を代表する人形アニメーション作家・川本喜八郎が、能や歌舞伎の題材となった安珍清姫伝説を脚色、女の情念と業を独自の様式美で描く。

変身

キャロライン・リーフ
1977年|カナダ

話の話

ユーリ・ノルシュテイン
1979年|ソ連

戦争に駆り出される男達、置き去られる赤ん坊…。物悲しいタンゴの調べにのせ、狼の子を狂言回しに戦争の悲劇を綴った叙事詩アニメーション。

王と鳥

ポール・グリモー
1979年|フランス

中世的な世界にロボットなどのSF的要素がふんだんに盛り込まれたファンタジー。宮崎駿にも多大な影響を与えたことが随所に見て取れる。

対話の可能性

ヤン・シュヴァンクマイエル
1982年|チェコスロバキア

果実や台所用品でできた人間が食らい合い、粘土の男女が激しく愛し合う。コミュニケーションの断絶や誤解をアニメーションで哲学的に描く。

パラダイス

イシュ・パテル
1984年|カナダ

100人の子供たちが列車を待っている

イグナシオ・アグエロ
1988年|チリ

セザンヌ

ダニエル・ユイレ/ジャン＝マリー・ストロープ
1989年|フランス

画家セザンヌについての特異な記録映画。作家ジョアシャン・ギャスケによるセザンヌとの空想的対話「彼が私に語ったこと」の朗読、セザンヌの絵画と彼がかつて見たであろう風景ショット、ストロープ＝ユイレの過去作からの引用等から構成された、映画による作家論。

阿賀に生きる

佐藤真
1992年|日本

阿賀野川流域に暮らす人々に3年間密着して撮影した作品。水俣病に冒されながらも、自然の中で穏やかに生きる老夫婦達の姿が胸に迫る。

光で書く 撮影監督ストラオロ

デヴィッド・トンプソン
1992年|イギリス

A

森達也
1998年|日本

A=オウム。地下鉄サリン事件後の信者達にカメラは寄り添う。マスメディア、そして私達が彼らに向ける眼差しの暴力が露呈する。

ジャンピング

手塚治虫
1984年|日本

78回転

ジョルジュ・シュヴィツゲル
1985年|スイス

ストリート・オブ・クロコダイル

ブラザーズ・クエイ
1986年|イギリス

覗き見式のキネトスコープに男が唾を垂らすと、錆び付いていた内部のカラクリが作動し始めて…。ポーランドの画家・作家であるブルーノ・シュルツによる短編小説『大鰐通り』を、双子の人形アニメーション作家ブラザーズ・クエイが機械仕掛けと血肉で彩った怪奇幻想の世界。

木を植えた男

フレデリック・バック
1987年|カナダ

AKIRA

大友克洋
1988年|日本

GHOST IN THE SHELL 攻殻機動隊

押井守
1995年|日本



提供: ミストラルジャパン

緑子 / MIDORI-KO

黒坂圭太
2010年|日本

謎の生命体を巡る争奪戦を息もつかせぬ展開で描いた手描き長編アニメーション。色鉛筆による作画は3万枚、制作には10年以上が費やされた。

ヴァンダの部屋

ベドロ・コスタ
2000年|ポルトガル他

鉄西区

ワン・ピン
2003年|中国

時の移ろいとともに衰退していく工業地帯とそこに生きる人々の姿を通し、中国社会の現実を浮き彫りにした9時間に及ぶドキュメンタリー。

選挙

想田和弘
2007年|日本/アメリカ



「鉄西区」2003年
発売元: シネマクガフィン

美術

4

議事堂を梱包する

ヴォルフラム・ヒッセン/
ヨルク・ダニエル・ヒッセン
1996年 | フランス

ドイツの旧帝国議会議事堂を梱包するクリスト夫妻の記録。24年の交渉を経て許可された束の間の梱包の美と、プロジェクトの意味とは？



ローザス・ダンス・ローザス

ティエリー・ドゥ・メイ
1997年 | ベルギー

コンテンポラリー・ダンスのカンパニー“ローザス”の初期作品。反復する身体運動と、ミニマルな音楽・空間の構造的関係性を追求。

現代建築家ビデオシリーズ

カラトラバ、ル・コルビュジエ、安藤忠雄など、優れた建築家達の作品を紹介、現代建築の潮流を探る。

アート・ドキュメンタリー・シリーズ

美術、建築、音楽、写真などあらゆる分野のアーティストの姿や制作過程を、映像作家が独自の視点で切り取ったドキュメンタリー・シリーズ。

ミステリアスピカソ 天才の秘密

アンリ=ジョルジュ・クルーゾー
1956年 | フランス

フィルム・ノワールの旗手として名高いクルーゾー監督が、ピカソの創作の過程を間近に捉えた記録映画。画面上に次々と生まれる線と色彩。天才画家の躍動する筆づかい…。描かれた20点の絵画は撮影後に廃棄され、この映画の中でしか見ることが出来ないとされている。



「ミステリアスピカソ 天才の秘密」1956年
発売元：紀伊國屋書店

舞台 演劇 ダンス

3

土方巽 夏の嵐 燐熾大踏鑑 2003-1973

荒井美三雄
1973-2003年 | 日本

土方巽が自らの舞踏を封印した1973年に撮影された京都大学講堂における伝説的公演の記録。土方は戦後日本の前衛ダンスの牽引者であり暗黒舞踏の創始者。地を這い禍々しくよじれる身体の鮮烈なイメージは、遊澤龍彦や三島由紀夫など同時代の文化人達を魅了した。



「土方巽 夏の嵐 燐熾大踏鑑 2003-1973」
1973-2003年

DVD 発売・販売：タケレオ出版

ダムタイプ/OR

高谷史郎 (演出)
1998年 | 日本

1997年に東京で行なわれた公演の記録。半円筒形のスクリーンが張られた真っ白な空間の中で、自己と非自己、生と死の「間」が考察される。

音楽

1

ディレクターズ・レーベル

クリス・カニンガム他

クリス・カニンガムやミシェル・ゴンドリーなど、傑出するミュージック・クリップの監督作品をまとめたDVDシリーズ。



IMAGE LIBRARY NEWS 特別号

編集：木村美佐子・佐々木友輔
デザイン：西中賢（西中デザイン事務所）
発行：武蔵野美術大学 美術館・図書館
発行日：2015年3月31日

武蔵野美術大学 美術館・図書館 イメージライブラリー

〒187-8505 東京都小平市小川町 1-736
TEL: 042-342-6072
URL: <http://img-lib.musabi.ac.jp/>

©2015 Musashino Art University Museum & Library. All Rights Reserved.